令和８年度みやぎの有機農産物販路拡大に向けた研修会　開催要領

１　目　的

県では、令和５年３月に「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」を策定し、農林水産業における環境への負荷を低減する取組を推進していますが、特に有機野菜等の青果物の生産拡大および生産量に応じた販路の拡大が今後の課題と考えております。

本研修会では、有機農産物を多数取り扱い、県内で65店舗を展開する株式会社ヨークベニマル様を招き、有機野菜の現状と販売ついて御講演いただきます。また、有機農産物の販路拡大に向けたパネルディスカッションを実施し、小売業者、有機登録認証機関、オーガニックビレッジ取組自治体、国、生産者の立場から、有機農産物のさらなる生産・販路拡大に向けた出席者参加型の意見交換を実施します。

２　開催日時・場所

（１）日時　令和８年１２月８日（火）午後１時から午後３時３０分まで

（２）場所　せんだい農業園芸センター

３　主　催　　宮城県

４　内　容

（１）開会挨拶　13:00～13:05

（２）基調講演【株式会社ヨークベニマル 青果部マーチャンダイザー 小美野 直之氏】13:05～13：50
　　ヨークベニマルにおける有機野菜の現状と販売拡大に向けた取組について

（３）質疑応答・休憩　13:50～14:00

（４）パネルディスカッション　14:00～14：50
　　【ファシリテーター：NPO法人環境保全米ネットワーク　髙橋 芳道氏】
　　【パネラーＡ：株式会社ヨークベニマル　青果部マーチャンダイザー 小美野 直之氏】
　　【パネラーＢ：大郷町農林振興課長　本間 文二氏】
　　【パネラーＣ：東北農政局　持続的食料システム戦略推進官　西村 博昭氏】
　　【パネラーＤ：有限会社大郷グリーンファーマーズ　西塚 忠樹氏】
　　ア　生産・流通・販売における「現場のリアル」
　　イ　販路拡大に向けた課題解決（安定供給とロットの確保）
　　ウ　オーガニックビレッジの取組について　ほか

（５）会場参加者より質疑応答 14:50～15：05

（６）情報提供【住友化学株式会社　アグリ事業部　飯塚 隆太氏】　15:05～15:20
　　『天然物由来殺菌剤「バリダシン」の紹介』

（７）閉会挨拶・閉会　15:20～15:30

５　参集範囲

（１）生産者：県内で環境に配慮した農業生産に取り組む生産者（有機 JAS 認証制度、みやぎの環境にやさしい農産物認証制度、GAP、みどり認定等取組者　等）

（２）行　政：オーガニックビレッジ取組市町、東北農政局、県関係者　等

６　参加申込

（１）参加費用　　無料

（２）申込方法　　みやぎ電子申請サービスにより事前申込

【申込フォーム】https://logoform.jp/form/GQGB/1283846

（３）申込期限　　令和８年１２月４日（金）

（４）定員上限 70 名に達し次第、募集を締め切ります。

（５）みやぎ電子申請サービスが利用できない場合は、別添チラシ裏面の参加申込書に参加者名と参加人数等を記載のうえメールまたはＦＡＸにてご報告願います。

７　留意事項

（１）会場までの交通費は参加者各自の負担となります。

（２）会場駐車場は写真のとおりです。



➡：車両入口

★：会場入口

□：駐車場所

８　お問い合わせ先

宮城県農政部みやぎ米推進課環境対策保全班

宮城県仙台市青葉区本町三丁目８番１号

ＴＥＬ　022-211-2845

ＦＡＸ　022-211-2849

e-mail　miyamai-kt@pref.miyagi.lg.jp